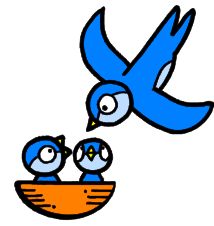


ひとひと
女と男グッドパートナー

つうしん
いきいき通信

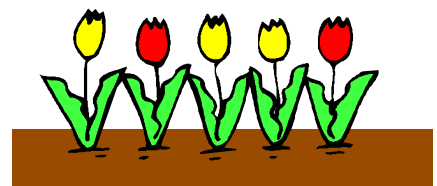


Vol. 3

湖南省男女共同参画リポーター、湖南省人権政策課



写真 平成 19 年(2007 年)12 月2日(日)「ひとひとともに輝くまち湖南のつどい」



ひと ひと 女と男ともに輝くまち湖南のつどいを開催しました！

平成19年(2007年)12月2日(日)、石部文化ホールで「女と男ともに輝くまち湖南のつどい」を開催。
約180人の参加がありました。



コーディネーターの早田リツ子さんは、男女共同参画懇話会委員におけるアドバイザーの立場として、市の男女共同参画計画作成にも携わっていただきました。

パネリストは、市議会女性議員、甲西北中学校教頭、ワークステーション虹の副所長という6人の構成で、女性4人、男性2人です。

早田さんの進行のもと、その仕事に就こうと思っただきっかけや日頃、感じていることなどを話していただきました。

市議会女性議員4人、甲西北中学校教頭、ワークステーション虹の副所長をパネリストとして迎え、女性史研究家の早田リツ子さんをコーディネーターに約一時間のパネルディスカッションをしました。

市議会女性議員、学校関係者、福祉関係者によるパネルディスカッション

「女と男ともに輝くまち湖南のつどい」

- 13:30～ あいさつ(13:00～受付)
- 13:40～14:40 トーク&コンサート
「～ひとり一人ちがういのちのかがやき～
あなたとわたしいまここにいるよ」おーまきちまき
- 14:50～15:50 パネルディスカッション
パネリスト 市議会女性議員、学校関係者、福祉関係者
コーディネーター 女性史研究家 早田リツ子

■自己紹介とその仕事に就こうと思っただきっかけ

早田 まずは自己紹介とその仕事に就こうと思っただきっかけを順番にお願いします。

植中 10年前に他界した第三子が障がい児のため、たとえ障がいがあっても、生まれ育った地域でその人なりに生きていけるような環境をつくる活動をしてきた。平成12年、ボランティア仲間等から薦められ、今まで多くの人たちにお世話になった人生の恩返しのため、困った立場の人のために役立ちたいと立候補を決心。娘たちは、初めは議員と会社勤めという激務に「やめたら」と心配したが、今は理解してくれている。

松山 平成12年、女性の声を議会に届けてほしいというまわりの勧めから立候補。中学校PTA

会長と教育委員長の経験を活かし、やってみようかと。3人の子を育てた母親の視点、女性の視点から意見を述べさせてもらっている。

鵜飼 平成16年に立候補。女性の声、母親の声を届けるため議会の場へ。自分の弟も脳性麻痺になり、父も呼吸器障害になった。「障がい者のために働け」との父の応援があった。

赤祖父 平成15年立候補。PTA副会長経験。(石部)南小の女児が交通事故で死亡。このことから女性の立場での声を届けることを決意。家族に相談。お互いの経験からの夫婦のあり方を改めて考える。家族の協力があるからこそできること。

宮治 教職30年。いつの間にか、この仕事に就こうという気持ち固める。男性、女性の違いはあっていい。

山崎 この仕事に就いて10年余り。母親が看護師。その(女性)が働く家庭の影響で、大学で福祉を学ぶ。医療、福祉も女性の職場

という印象が強くて、そのなか
に男性が働くことの困難さは
ある。



■職場で感じるジェンダー(社会的性別)意識

早田 山崎さんの仕事は、女性しかできない仕事、男性が入ってはいけない仕事というふうに思われていました。職場での男女共同参画について感じることはあります。

植中 30年前に大阪から引越してきたときは、何かにつけて男
社会と感じた。母親が学校に
お願いにいつてもなかなか真剣
に聞いてもらえないのに、父親
なら話が進むというような例
がよくあった。人権とは、基本
的に「あなた」と「私」のような
身近な人と人との関係のなか
にあると思う。子どもへの暴力
防止活動に参加しているが、早
い時期から自分もまわりの人
も、ともにかけがえのない存在
ということを教えるべき。男女
共同参画には、女性自身が自
分の生きかたを考え選択でき
る社会をつくるのが大切。

松山 音楽をとおして女性だけの活
動をはじめたが、これは注目
された。議員になって、「女で
議員は大変だな」「ご主人は偉
いな」と言われ、「なにを古い考
えを持っているのか」と感じた。
市役所のなかも同様に感じた。
それぞれの家庭に男女の役割
があるのに、女性は家事優先
の考えを押しつけられること
もある。女性職員が定年を待
たずに辞めるのを見て、でき
る能力を最後まで活かしてほ

しいと感じた。小さいときから
の教育が大事。お互いの持分
を認め合いながら共に生きる
ことを子どもに伝えていくべき。
父性、母性の特性を大切にし
たい。

鵜飼 夫はサラリーマンで子どもは
学生。家族の協力をもらって議
員を務めている。家族に感謝。
市は副議長が女性を選出。男
性のみの収入で家計を支える
ことは大変。女性が働き続け
られる社会を作ること。結婚・
出産のあとの再就職の支援。

赤祖父 男だから、女だからの観念
が抜けない議員もまだいる。現
在はなくなってきたが、親睦会で失
礼な言葉を受けたこともある。
女性は粘り強い。市民ひとり
一人が助け合う町づくりを。
出産は女性にしかできないこ
と。これに喜びを感じる。お互
いのよいところを認め合うこ
とが大切。

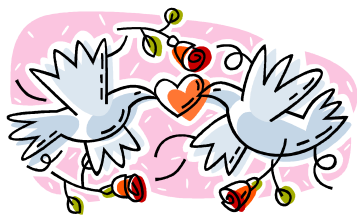


あ と が き

男女共同参画リポーター

男女共同参画リポーターは、地域に根ざしたまちづくりを進めるため設置されています。

任期は1年。市内に在住か在勤されている20歳以上の人で、男女共同参画社会について興味を持ち、意欲を持って活動できる人ならどなたでも歓迎です。主な活動は「市民のつどい」の開催や新聞などの発行です。



男だから、女だから、という理由だけで、したいことができないのは、その人の個性や能力の発揮を妨げます。

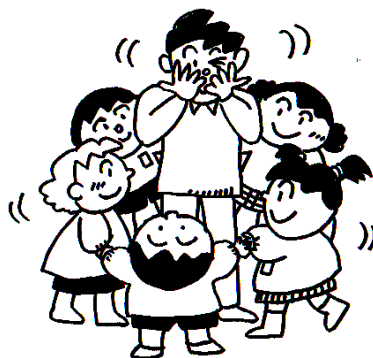
男女共同参画とは、一人ひとりの違いを認め合い、それぞれが自分の意思で社会に参画し、お互いに支えあって生き生きと暮らす社会です。



宮治 男性議員が誕生したとき、女性議員が誕生したときの配偶者の見方は変わる。小・中義務教育中では、男女ともに同じ作業をさせる。男女ともにお互いに感謝の気持ちを持つよう指導している。男女の区別は家庭や地域のなかで知らず知らずの間にできあがっているのではないか。市の男女共同参画の推進は、お互いに感謝する気持ちをもつことの大切さを推進していくことではないか。

早田 今日、ふだん使っている言葉で考えていることを話していただいた。今日のパネリストの組み合わせは重要。戦前の女性には政治にかかわることはできなかつたということから女性議員に、女性の職場とかわられていたところへ男性が入れるようになったということから

いのか。この職場では、男性1人の収入で生活を支えられるか心配なことがある。若い男性でも先のことを考えると心配である。しっかり男性が生きていけるよう生活保障もされるべき。



福祉関係の男性に、そして、教育の場から未来へつなげる男女共同参画推進を指導していただきたいということ、教育現場の先生に参加していただいた。どの分野でも性別による「チャレンジャー」にならなくていい社会に。
了

「ひとひとと男グッドパートナー いきいき通信」Vol. 3

発行日 平成20年(2008年)3月

編集・発行 湖南省男女共同参画リポーター

(川奈部洋子・黄之瀬節子・富田むつみ)

湖南省人権政策課

連絡先 〒520-3288 湖南省中央一丁目1番地

湖南省人権政策課

TEL 0748-71-2354

FAX 0748-72-2201